

企画展

圏央道の遺跡

～埼玉の発掘調査 西から東から～

共催：(公財) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

協力：国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所 / 国土交通省関東地方整備局 北首都国道事務所

平成26年1月2日(木) → 2月16日(日)

9:00～16:30 (入館は16:00まで)

休館日：月曜日 (ただし1月13日は開館)

観覧料：一般 400円 (250円)、高校生・学生 200円 (150円)

中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方 (付添1人を含む) は無料 ※ () は20人以上の団体



同時開催

パネル展「圏央道の建設」

平成26年度全線開通を予定している、圏央道(埼玉県区間)の現在の状況、整備効果についてご紹介します。

展示協力：国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所

北首都国道事務所

狭山市西久保遺跡航空写真 (右上が狭山日高IC部分)



埼玉県立
歴史と民俗の博物館
Saitama Prefectural Museum of History and Folklore

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219
電話 048-645-8171 FAX 048-640-1964
http://www.saitama-rekimin.spec.ed.jp/

主催 ● 埼玉県立歴史と民俗の博物館

後援 ● FMNACK5 / 埼玉新聞社 / テレビ玉

企画展
圏央道の遺跡
割引券

企画展 圏央道の遺跡 ～埼玉の発掘調査 西から東から～

県内には 10,000 ヶ所を超える、貝塚や古墳などの遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が確認されており、土木工事に伴い年間 200 件前後の発掘調査が実施されています。

今回の企画展では、入間市から幸手市へ、埼玉県を東西に横断する圏央道（正式名称は一般国道 468 号首都圏中央連絡自動車道）建設に伴って発掘調査された代表的な遺跡の出土品を一堂に展示いたします。旧石器時代から江戸時代に至る多くの遺跡発掘調査により、新たに明らかとなった埼玉県の歴史を、考古学的な研究成果を踏まえ、わかりやすく紹介いたします。



旧石器時代の石斧
(鶴ヶ島市横田遺跡)



トロフィー形をした縄文土器
(桶川市前原遺跡)



馬形埴輪
(川島町富田後遺跡)



馬の口に付ける轡
(川越・日高市光山遺跡群)

記念講演会

日 時：2月11日（火・祝）13:30～15:00

講 師：榎宜田佳男氏

(文化庁文化財部記念物課埋蔵文化財部門主任文化財調査官)

演 題：「発掘された弥生のムラー九州・近畿・南関東一」

会場・定員：当館講堂・150名

費 用：無料

申 込：下記のいずれかの方法でお申し込みください。

①往復はがき(1通につき1名のみ有効)：往信用の裏面に住所・氏名・連絡先電話番号、返信用表面に住所・氏名を明記のうえ、当館「企画展講演会係」までお送りください。

②埼玉県電子申請：当館ホームページのリンクから所定のフォームに入力してください。

※いずれも受付期間は12月1日～1月22日、期間内必着です。なお、定員を超えた場合は抽選になりますので、あらかじめご了承ください。

担当者が語る遺跡調査成果報告会

第1回 2月1日（土）13:30～15:30

- ①「狭山市西久保遺跡」(旧石器時代) 西井幸雄氏
- ②「桶川市諏訪野遺跡」(縄文時代) 渡辺清志氏

第2回 2月8日（土）13:30～15:30

- ③「川島町富田後遺跡」(古墳時代) 福田聖氏
- ④「川越市宮廻館跡」(鎌倉・室町時代) 木戸春夫氏

(講師は全て(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団職員)

会場・定員：当館講堂・150名

費 用：無料

申 込：不要。直接会場にお越しください。

学芸員による展示解説

日 時：1月4・25日（土）、2月15日（土）

13:30～14:00

費 用：企画展観覧料

申 込：不要。当日開始時間前に特別展示室入口に集合

渋沢敬三没後50周年記念事業
「屋根裏部屋の博物館—Attic Museum—」
平成26年3月21日（金・祝）～5月6日（火・振休）



次回の特別展

【交通機関】
JR大宮駅から東武野田線大宮公園駅下車 徒歩5分
駐車台数に限りがありますので(18台)、できるだけ電車をご利用ください。

●問い合わせ・申し込みは



〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 4-219
Tel.048-645-8171 Fax.048-640-1964

<http://www.saitama-rekimin.spec.ed.jp/>

企画展「圏央道の遺跡」
観覧券 一般250円
高校生・学生150円